

I. 活動成果及び今後の課題

(注) 各項目の記述には必要な分量のスペースを使ってください。

<p>(1) 活動成果</p> <p>2017年以來の定期公演の開催となった。第4回までは木管5重奏、金管5重奏といった管楽器の室内楽が中心だったのだが、第5回目となった今回はフルメンバーである管打楽器奏者13人による「小編成吹奏楽」をメインとしたコンサートとして開催した。</p> <p>吹奏楽界の巨匠、フレデリック・フェネル氏が提唱した、各パート1本を原則とした芸術としての吹奏楽＝「ウインド・アンサンブル」という概念を当団体なりに捉え、その編成をさらにエッセンス化して「管打楽器各1本によるウインドアンサンブル」としてプログラミングにも取り組んだが、この編成のオリジナル作品は存在していないためプログラム全ての曲を編曲し直して取り上げることにした。</p> <p>結果「戴冠行進曲《王冠》(W.ウォルトン)」「海を越える握手 (J.P.スーザ)」「エルキャピタン (J.P.スーザ)」といったフェネルが生前積極的に取り上げた作品から、近年人気の高い「イーストコーストの風景 (N.ヘス)」といった大規模な吹奏楽作品まで、魅力ある作品を当団体のレパートリーとして加えることができた。</p> <p>また、演奏効果としては、本来であれば50人規模の吹奏楽で取り扱う作品をあえて小編成で演奏することで各楽曲の“音色”や“粋(すい)”, また楽器ごとの“アンサンブル”をより感じることができたといった声を終演後お客様からいただくことができ、『管打楽器アンサンブルの魅力』を伝えることができ、今回の演奏会の開催意義を改めて感じる事ができた。</p> <p>最後に、今回2020年の2月末の開催にあたり新型コロナウイルスの感染拡大によるコンサートの自粛傾向を受けて当公演も一時は開催自体の延期・中止を検討したが、最終的にはメンバーとも協議した結果、十分な感染防止対策を行うことで実施という判断に至った。</p> <p>その後コンサートの全面的な自粛期間に突入したことを考えると、ギリギリのタイミングでの開催となったが「コロナ下でのコンサート実施」という面では、今後まだ続くであろうこの状況下でのクラシックコンサートの在り方についていち早く体感的に考えることができたことも意義は大きいと感じた。</p> <p>今回助成金をいただいたことで、今までには構想はあったが実現が難しかった意欲的なプログラムで5回目となる節目の公演を意義深いものにできたこと、感謝しています。</p>
<p>(2) 今後の課題</p> <p>公演内容的には非常に充実したものであったが、集客面では課題が残る結果となった。</p> <p>今回、助成公演となった「定期公演」に加え前日に同会場にて行った家族向けの公演も併せて1枚のチラシを作成し広報、集客を行ったが、①当団体の主なターゲットである学生が試験期間であった、②新型コロナウイルスの流行が始まった、③前日のファミリーコンサートと併せてチラシを作成したことで助成公演が目にとまりづらかった。といった原因もあり、集客数が当初の想定を下回ってしまった。(前日の親子公演が145名、助成公演は61名の集客だった)</p> <p>結果だけ見れば、新型コロナウイルスの感染拡大防止措置として行った「2列目までの客席封鎖」、「隣とひと席分感覚を開けて座る」ことができたという点では必ずしも失敗とは言えないが、定期公演として見ると今後は「集客方法」「開催時期」「プログラミング」等に工夫が必要だと感じた。</p> <p>第4回目までは代々木上原のムジカーザで開催しており、客席数も最大で100名といった中規模のホールだったが、今回は公演内容に伴い席数も400席と大きく拡大しての開催となった。</p> <p>今後は、公演内容の充実と同時に、会場のキャパシティも考慮した内容にすることでより多くの聴衆に効果的にリーチしていけたらと考えている。</p>

II. 支出報告 (使途、数量等を具体的に摘要欄に記入して下さい)

費用	金額	摘要
(1) 会場費	80,670円 万円	北とびあつつじホール午後夜間 (付帯設備費含)
	7,210円	リハーサル (ココキタ、川口リリア)
	5,250円	リハーサル (スタジオスカウト)
(2) 印刷製本費	5,610円	プログラム印刷費
	8,040円	チラシ・ポスター楽譜等印刷費
(3) 旅費交通費		
(4) 謝金	60,000円	西下航平氏編曲委託料
	205,416円	演奏者謝金
(5) その他	770円	振込手数料
	6,416円	ケータリング代として
	1,445円	楽譜等郵送費として
	34,766円	交際費
合計	414,823円	

※上記に記載された支出の事実が分かる領収証のコピーを添付してください。

別紙添付



北区のみなさまへ
「ありがとう」を込めて。

2020 親子公演

2/24 (月祝)

14:00開演 | 13:30開場

北とぴあ つつじホール

一般 2,000円 学生 1,500円 子供 1,000円

2世代券 2,000円 3世代券 3,000円

(全席自由・北区民割引あり)

| 懐かしの美空ひばりメドレー
| オリンピック! パプリカ♪
| 宝島♪

3世代で楽しむ!
ルヴァンファミリーコンサート

ルヴァン - 2つの贈りもの -

北区民
割引あり
ます!!

Ensemble Levent 5th concert - 光山文化財団助成公演 -

13人で奏でるウインド・アンサンブルの名曲
~巨匠フレデリック・フェネルを讃えて~

定期公演

2020

2/27 (木)

19:15開演 | 18:45開場

北とぴあ つつじホール

一般 3,000円 学生 1,500円

(全席自由・北区民割引あり)

G.ホルスト / 吹奏楽のための第一組曲 |
N.ヘス / イーストコーストの風景 |
A.リード / アルメニアンダンスPart1 |

吹奏楽の「名曲」に
小編成で挑む

公益財団法人
光山文化財団

ABOUT US

東京藝術大学の卒業生を中心に2014年に結成。
管楽器1本ずつに打楽器を加えた「ウインド・アンサンブル」の形態
で様々な演奏活動を行うほか、芸術鑑賞会や部活指導といった教育現
場での音楽普及にも力を注いでいる。
ルヴァン (Levent) はフランス語で『風』の意。



Levent - Two gifts -

ACCESS

北とぴあ つつじホール

〒114-8503 東京都北区王子1丁目11-1
京浜東北線「王子駅」北口徒歩2分
東京メトロ南北線「王子駅」5番出口直結
都電荒川線「王子駅前」徒歩5分



24日のみ…森田 27日のみ…古土井、重井

TICKET

親子公演

2/24 (月祝) 14:00開演 | 13:30開場

ルヴァンとしては初となるファミリーコンサート。
2019年に数多くお世話になった北区の皆様「ありがとう」の気持ちを込めて、美空ひばりメドレーからパブリカ、体験コーナーまでご家族みなさんでお楽しみいただける内容をご用意いたしました。休日のお昼。北区の方はもちろん、区外の方もぜひお気軽にお越しください。

- 一般 2,000円
- 学生 1,500円 *中高生
- 子供 1,000円 *3歳以上要チケット・2歳以下無料
- Set ticket-
- 2世代券 2,000円 *2名様セット券
- 3世代券 3,000円 *3名様セット券

- *「2世代券」…ご家族のうち2世代でお越しいただける方が購入できます。
(例)お母さんと子ども、おじいちゃんとお孫さん
- *「3世代券」…ご家族のうち3世代でお越しいただける方が購入できます。
(例)おじいちゃんとお父さんと子ども



ゲスト: 菊地友夏
(北区在住エレクトーン奏者)

定期公演

- 光山文化財団助成公演 -

2/27 (木) 19:15開演 | 18:45開場

5回目を迎えたルヴァン・レギュラーコンサート。
今回は光山文化財団の助成をいただき、小編成吹奏楽をお届けします。吹奏楽界の巨匠、フレデリック・フェネル氏の功績を讃えて、ホルスト、リードといった懐かしい「名曲」からマーチ、アンダーソン作品まで吹奏楽の原点をお楽しみいただけるプログラムでお送りいたします。

- 一般 3,000円
- 学生 1,500円
- 会員 2,000円
- *「会員」…ルヴァン・フレンズの方



公益財団法人
光山文化財団



| TEL・メール

お問い合わせ

03-6260-8489
info@ensemblevent.com

(主催・問い合わせ先) アンサンブル・ルヴァン

| 窓口

北とぴあ1F「チケット売場窓口」
にて直接ご購入いただけます。

*受付時間10:00~20:00(臨時休館日18:00まで)
*北区の方は在住・在勤・在学を証明できるものを掲載ください。

| ウェブ



プログラム イギリスの王道

W.オケルトン(山田大 編曲)：戴冠行進曲《王冠》*

— 20世紀のイギリス音楽を代表する作曲家オケルトンが1937年にジョージ6世の戴冠式のために書いた元は管弦楽のための作品。英国らしい気品あふれる、長調の行進曲。

G.ホルスト(川口晃 編曲)：吹奏楽のための第一組曲*

— 「もしこのスコアを真に理解したならば、それは音楽と指揮というものをすべてを理解したのと同じだ」とフエネガが口にしたほどの吹奏楽における古典的名曲。世界初録音は1955年にフエネガによって行われている。

I. Chaconne シヤコンヌ II. Internozzo イソラルマツツキ III. March マーチ

N.ヘス(西下航平 編曲)：イーストコーストの風景

I. Shelter Island シェルター島 II. The Catskills キャットツキル山地 III. New York ニューヨーク
— イギリス出身の作曲家ヘスがアメリカの東海岸(イーストコースト)を訪れた際の印象を3つの楽章にまとめた作品。自然と別荘のあるシェルター島、ゆるやかな山地が広がるキャットツキル、大都会ニューヨークの3曲から成る。

～ 休憩(15分) ～

アメリカの挑戦

J.P.スエーザ(川口晃 編曲)：エル・キヤピタン *

— オペレッタ「エル・キヤピタン」に登場する旋律を抜粋、構成した行進曲。8分の6拍子から途中4分の2拍子に変わるのもこれが要因。「マーチ王」として知られるスエーザだが、オペレッタや組曲なども多く残している。

L.アンダーソン(永野雅晴 編曲)：アンダーソンスムプレー *

— アメリカ軽音楽の巨匠として知られるアンダーソン。その中でも特に有名な曲を3つお送りします。ニューアタナッパリを在掛けが見どころ。

A.リード(川口晃 編曲)：アルミニウム・ダンス Part1

— ニューヨーク生まれで20世紀の吹奏楽界を代表する作曲家A.リードの代表作の1つ。アルミニウムの民謡が素材となっており、このPart1では5つのアルミニウム民謡が続けて演奏される。

【1】の曲はフエネガ氏のアルバム「Frederick Fennell The Collection」より選曲

フレデリック・フエネガ

Frederick Fennell (1914～2004)

アメリカネオ・イタリック・クラシックの吹奏楽界におけるもっとも影響力のある指揮者の一人として「各ハートマン」の編成からなる「クラシック・アンサンブル」の形態を提唱し、現在の吹奏楽の基礎をつくりあげた。本人は打楽器で修士号まで取得しており、自身の指揮による多くの録音はその厳格で卓越した楽曲づくりや録音技術によって今なおあせていない。
日本では東京定成吹奏楽団やアンサンブルの桂冠指揮者としても知られており、同団体の定期演奏会のみならず、各種録音、音楽鑑賞教室なども精力的に行なうなど吹奏楽の発展に与えた影響は計り知れない。



石田 彩子
フルート奏者として幅広く活躍中。吹奏楽指導にも定評がある。埼玉県。



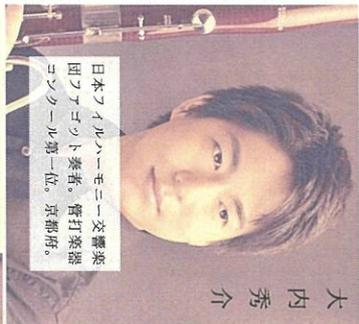
佐竹 真登
日本アイルハルハーモニー交響楽団オポエ奏者。日本音楽コンクール第二位。埼玉県。



西澤 いずみ
クラリネット奏者として活躍中。藝大卒業時ヤブハン新人演奏会選出。埼玉県。



山崎 憂佳
「海濱姉妹」リーダーとして活動を展開する。コンクール受賞歴多数。高知県。



大内 秀介
日本アイルハルハーモニー交響楽団フアゴット奏者。管打楽器コンクール第一位。京都府。



庄司 雄大
藝大アイルハルハーモニー管弦楽団首席ホルン奏者。コンクール受賞歴多数。宮城県。



古土 井友輝
トランペット奏者として活躍中。数多くのアンサンブルに携わる。広島県。



重井 吉彦
東京アイルハルハーモニー交響楽団トランペット奏者。室内楽にも定評がある。鹿児島県。



竹内 優彦
オーケストラジャズバンド、ホルン奏者。コンクールなど受賞歴も多数。神奈川県。



兼清 颯
ニューアミニウム奏者として活躍中。アンサンブル代表。広島県。



芝 宏輔
ばんだらインストオーケストラチューバ奏者。その演奏にフアゴットも多い。千葉県。



永野 仁美
打楽器奏者として活躍中。演奏はかきの手が早い指導にも定評がある。東京都。



永野 雅晴
打楽器奏者として活躍中。林英哲氏に師事する。自作曲多数。愛知県。